

広島市特任大使「ひろしま文化大使」への委嘱について

1 趣旨

平和、文化、スポーツ、観光その他の分野で活躍する方等を通じて、本市に関する情報を国内外に発信することにより、本市のイメージアップを図り、もって本市の発展に資するため、本市に広島市特任大使を設置しています。この度、世界的に演奏活動を行っておられるマルタ・アルゲリッチ氏（ピアノ奏者）に対し、「ひろしま文化大使」を委嘱しました。

2 受嘱者

氏名 (出身)	年齢	現職	行為・活動の概要
Martha Argerich マルタ・ アルゲリッチ (アルゼンチン・ ブエノスアイレス)	78歳	ピアノ 奏者	<p>5歳からピアノを学び、8歳でモーツァルトとベートーヴェンのピアノ協奏曲を弾いてデビューした。1957年にブゾーニとジュネーヴの国際ピアノ・コンクールで優勝し、活発なコンサート活動を開始。1965年にショパン国際コンクールで優勝したことで、自身の世界的な評価を決定的なものとし、人気、実力ともに世界的トップ・ピアニストとして活躍を続けている。第2次世界大戦における原爆投下とホロコーストを人類史上最も恐ろしい犯罪と訴え、音楽には人を愛することを育み、人を傷つける気持ちを萎えさせる力が宿っているという信念から、「Music Against Crime」というコンセプトの下、日本国内でも演奏活動を続けている。</p> <p>被爆70周年に当たる2015年8月には、広島と東京・サントリートホールで開催された「平和の夕べ」コンサートで広島交響楽団と共演した。これを機に、広島交響楽団から「平和音楽大使」の称号を贈られ、同氏と広島交響楽団は、相互に世界平和のための音楽活動を続けることを約束した。</p> <p>日本・ポーランド国交樹立100周年に当たる2019年8月には、広島交響楽団として初となる大規模海外公演「ショパンと彼のヨーロッパ」国際音楽祭で、広島交響楽団及びワルシャワ市のプロ・オーケストラであるシンフォニア・ヴァルソヴィアと共演し、音楽を通じた平和発信を行った。</p>

3 任期

令和元年（2019年）8月17日から令和5年（2023年）8月16日

4 参考

これまで委嘱している5名の方：原田 真二氏【歌手】、南 一誠氏【歌手】、大植 英次氏【指揮者】、中本 洋世氏【茶道上田宗箇流家元正教授】、沖田 孝司氏【ヴィオラ奏者】